

漢訳聖書の文書表題について

ープロテスタントによる新約聖書を中心にー

永 井 崇 弘*

はじめに

プロテスタントによる聖書の漢訳は、18世紀にさかのぼる。1811年にインドのセランポールでバプテスト系の英国人マーシュマン（Joshua Marshman, 1768–1837）とその協力者のラサル（Joannes Lassar）によって新約聖書の漢訳が完成した。それと同時期の1813年には、中国において英国倫敦会の宣教師であるモリソン（Robert Morrison, 1782–1834）が新約聖書を漢訳出版している。

爾来プロテスタントでは、カトリック教会や正教会と比較にならないほど多くの種類の聖書が漢訳出版されてきた。Spillet1975によると、1970年代半ばまでに新約聖書、旧約聖書、旧新約聖書としてまとまった形で出版されたものだけでも全部で297種の出版が確認できる。このうち新約が221種、旧約が19種、旧新約聖書として出版されたものが57種と新約の漢訳出版が約74%と多数を占めている。このような多種多様な漢訳聖書が翻訳出版された背景としては、プロテスタントにおける聖書の位置づけやプロテスタント各教派間の独立性の高さがあげられる。

聖書は古い契約の諸文書である「旧約聖書」と新しい契約の諸文書である「新約聖書」から成っている。「新約聖書」は「旧約聖書」と対にして使用される名称であることから、「旧約聖書」という名称が出現した2世紀には「新約聖書」の名称も存在していたものと考えられている。この「新約聖書」にある27文書が正典として固定されたのは4世紀半ばであるが、新約聖書の各文書の表題は本文に含まれないため、写字生によってそれぞれ表題が付されてきた。4世紀のギリシア語聖書やエフラム写本といった古い写本における表題は、「ヨハネの黙示録」を「Ἀποκάλυψις Ἰωάννου」とするなど非常に簡素なものであった。これが後世になると「Ἀποκάλυψις Ἰωάννου τοῦ θεολόγου」や「ἁγίου Ἰωάννου」というように記者のヨハネに対して「神聖な（神学者）」や「聖徒」といった冠が付されるようになった¹⁾。

本稿ではその成立にさいして聖書本文よりも比較的自由度のある文書表題について、その種類が最も多いプロテスタントによる漢訳新約聖書から考察を行い、その特徴を明らかにするとともに

*福井大学教育地域科学部人間文化講座

に、その系譜化と類型化を試みる。

1. 本稿で考察対象とする漢訳新約聖書とその特徴について

本稿では19世紀から現在までに出版されたプロテスタント系新約聖書を考察の中心とするが、これに加えてモリソンが聖書を漢訳するさいに参照したとされる1700年代前半に漢訳されたと推定されるカトリック教会の宣教師ジャン・バセの手による『四史攸編』（「福音書」から「ヘブル人への手紙」までを所収）についても考察を行う。具体的な新約聖書ならびに旧新約聖書の新約部分の訳本は以下のとおりである。

文理および文理系訳

- (1) Jean Basset. 『四史攸編』（1700年代前半）。
- (2) Joshua Marshman 1815-1822. 『聖經』（マーシュマン、ラサール訳）。
- (3) Robert Morrison 1813. 『新遺詔書』（モリソン訳）。
- (4) Robert Morrison 1823. 『神天聖書』（モリソン訳）：Anglo-Chinese College。
- (5) 『我等救世主耶穌新遺詔書』（モリソン訳）。マラッカ：英華書院。
- (6) 『救世主耶穌新遺詔書』（モリソン改訳1835－1837年）。新嘉坡：堅夏書院。
- (7) 1855. 『旧新全書』（文理代表訳）。香港：英華書院。
- (8) 1869. 『新約全書』（文理代表訳）。香港：英華書院。
- (9) 1921. 『新約全書 文理』（文理代表訳）。上海：大美国聖經会。
- (10) 1930. 『新約全書 文理』（文理代表訳）。上海：聖書公会。
- (11) 1869. 『新約全書』（ブリッジマン、カルバートソン文理訳）。上海：蘇松上海美華書館。
- (12) 1884. 『新約全書 文理』（ブリッジマン、カルバートソン文理訳）。上海：大美国聖經会。
- (13) John Griffith 1886. 『新約全書』（グリフィス文理訳）。漢口：英漢書館。
- (14) John Griffith 1898. 『新約全書』（グリフィス文理訳）。漢口：英漢書館。
- (15) 1924. 『新約全書 文理和合訳』（文理和合訳）。上海：大英聖書公会。

浅文理訳

- (16) Burdon & Blodget 1895. 『新約聖經』（バードン、プロジェクト浅文理訳）：大美国聖經会。
- (17) 施約瑟 1902. 『旧新約聖經』（シェレシェウスキー浅文理訳）。横浜：上海大美国聖經会。
- (18) 1903. 『新約全書 浅文理』（浅文理訳）。広東：粵城美華浸信会書局。

官話および官話系訳

- (19) 1857. 『新約全書』（メドハースト訳南京官話）。上海：墨海書館。
- (20) 1872. 『新約全書 按希利尼原文繙訳官話』（1872年委員会北京官話訳天主版）。北京：京都東交民巷耶穌堂。
- (21) 1872. 『新約全書 官話』（1872年委員会北京官話訳神版）。上海：大美国聖經会。

- (22) 1887. 『新約全書 官話』(1872年委員会北京官話訳神版)。上海：上海美華書館。
 - (23) 1903. 『新約全書 官話』(1872年委員会北京官話訳上帝版)。上海：上海大美国聖經会。
 - (24) John Griffith 1892. 『新約全書』(グリフィス南方官話訳)。漢口：英漢書館。
 - (25) 『新約全書 (官話)』(1907-1918年和合訳と推定)。漢口：蘇格蘭聖經会。
 - (26) 2006. 『聖經一和合本 (神版)』(1919年訳)。香港：香港聖經公会。
 - (27) 1926. 『新約全書 中西字』(和合訳)。上海：Brithsh & Foreign Bible Society。
 - (28) 1939. 『新約全書附詩篇』。中国：聖經公会。
 - (29) 1951. 『新約全書』。中国：中華聖經会。
 - (30) 呂振中 1970. 『聖經』。香港：香港聖經公会。
 - (31) 1991. 『圣经 现代中文译本』(1975, 1979年)。新加坡：新加坡及文莱圣经公会。
 - (32) 2010. 『新訳・和合聖經』(新訳1976年訳)。香港：環球聖經公会有限公司。
 - (33) 1992. 『聖經 (新標点和合本)』(1988, 1989年)。香港：聯合聖經公会。
 - (34) 2011. 『聖經・新約全書—新漢語訳本 (注釈版)』(2010年訳)。香港：漢語聖經協會有限公司。
 - (35) 2011. 『聖經一和合本修訂版 (神版)』。香港：香港聖經公会。
- 方言訳 (方言ごとに漢訳年順に配列)
- (36) 1881. 『新約全書 上海土白』(上海語訳)。上海：大美国聖經会。
 - (37) 1922. 『新約全書 蘇州土白』。上海：大美国聖經会。
 - (38) 1906. 『新約全書 広東話』(広東語訳)：聖經公会。
 - (39) 1931. 『新約全書 中西字 広東話新訳本 美国新訳英文』(広東話新訳本)。上海：The American Bible Society。
 - (40) 2006. 『聖經 新広東話』(1997年訳)。香港：香港聖經公会。
 - (41) 1894. 『LÁN Ê KIÙ-TSÚ IÂ-SO KI-TOK Ê SIN IOK. TSOÂN SU』(厦門語訳)：聖經公会。
 - (42) 1995. 『SIN KŪ IOK Ê SÈNG-KENG CHOÂN SU』(1933年 Thomas Barclay 訳)。台湾：中華民國聖經公会。
 - (43) 1996. 『聖經 (台語漢字本)』(1933年 Thomas Barclay 訳修訂本)。台湾：台湾聖經公会。
 - (44) 1993. 『客語聖經 (現代台湾客語訳本)』。台北：中華民國聖經公会。

これらの異なる版本を含む44種の漢訳新約聖書の正典27文書の表題を見てみると、(30)の呂振中訳と厦門方言の(40)、(41)、(42)以外はすべて文言の表題が使用されている。厦門方言訳の文書表題が方言で記されるのは、(40)と(41)がそもそもローマ字訳本であり、(42)は(41)を漢字で転記しただけの版本であるからだと考えられる。つまり、漢訳新約聖書の文書表題を考察するうえで、言語体による差異はほとんど考慮する必要がないということである。この点を含みおいて同一表記の表題を整理すると以下の23種類にまとめられる。

① Jean Basset. 『四史攸編』（1700年代前半）。

四史攸編			
マタ	馬寶	I テモ	福保祿使徒與氏末陡第一書
マコ	馬耳谷	II テモ	福保祿使徒與氏末陡第二書
ルカ	路加	テト	福保祿使徒與的多書
ヨハ	若望	ピレ	福保祿使徒與斐肋莫書
使	使徒行	ヘブ	福保祿使徒與赫伯輩書
ロマ	福保祿宗徒與羅瑪輩書	ヤコ	—
I コリ	福保祿與戈林輩	I ペテ	—
II コリ	福保祿使徒與戈林多輩第二書	II ペテ	—
ガラ	福保祿與雅辣達輩書	I ヨハ	—
エペ	福保祿使徒與厄弗所輩書	II ヨハ	—
ピリ	福保祿使徒與（非邑）理比輩書	III ヨハ	—
コロ	福保祿使徒與戈洛所輩書	ユダ	—
I テサ	福保祿使徒與特撒羅第一書	黙	—
II テサ	福保祿使徒與特撒羅輩第二書		

② Joshua Marshman 1815-1822. 『聖經』（マーシュマン、ラサール訳）。

マーシュマン、ラサール訳			
マタ	使徒馬寶傳福音書	I テモ	使徒保羅與弟摩氏第一書
マコ	馬耳可傳福音書	II テモ	使徒保羅與弟摩氏第二書
ルカ	聖路加傳福音書	テト	使徒保羅與弟多書
ヨハ	若翰傳福音書	ピレ	使徒保羅與腓利們書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅與希百耳輩書
ロマ	使徒保羅與羅馬輩書	ヤコ	者米士即牙可百之公書
I コリ	使徒保羅與可林多輩書	I ペテ	使徒彼多羅之第一公書
II コリ	使徒保羅與可林多輩第二書	II ペテ	使徒彼多羅之第二公書
ガラ	使徒保羅與厄拉氏亞輩書	I ヨハ	使徒若翰之第一公書
エペ	使徒保羅與以弗所輩書	II ヨハ	使徒若翰之第二公書
ピリ	使徒保羅與腓利比輩書	III ヨハ	使徒若翰之第三公書
コロ	使徒保羅與可羅所輩書	ユダ	使徒如大之公書
I テサ	使徒保羅與弟撒羅尼亞輩書	黙	使徒若翰顯示之書
II テサ	使徒保羅與弟撒羅尼亞輩第二書		

③ Robert Morrison 1813. 『新遺詔書』(モリソン訳)。

Robert Morrison 1823. 『神天聖書』(モリソン訳)：Anglo-Chinese College。

『我等救世主耶穌新遺詔書』(モリソン訳)。マラッカ：英華書院。

モリソン訳			
マタ	聖馬竇傳福音書	I テモ	聖保羅使徒與弟摩氏第一書
マコ	聖馬耳可傳福音書	II テモ	聖保羅使徒與弟摩氏第二書
ルカ	聖路加傳福音書	テト	聖保羅使徒與弟多書
ヨハ	聖若翰傳福音之書	ピレ	聖保羅使徒與腓利們書
使	使徒行傳	ヘブ	聖保羅與希比留輩書
ロマ	聖保羅使徒與羅馬輩書	ヤコ	者米士或稱牙可百之公書
I コリ	聖保羅與可林多輩第一書	I ペテ	聖彼多羅之第一公書
II コリ	聖保羅使徒與可林多輩第二書	II ペテ	聖彼多羅之第二公書
ガラ	聖保羅與厄拉氏亞輩書	I ヨハ	聖若翰之第一公書
エペ	聖保羅使徒與以弗所輩書	II ヨハ	聖若翰之第二書
ピリ	聖保羅使徒與腓利比輩書	III ヨハ	聖若翰之第三書
コロ	聖保羅使徒與可羅所輩書	ユダ	聖如大或稱如大士之公書
I テサ	聖保羅使徒與弟撒羅尼亞輩書	黙	聖若翰現示之書
II テサ	聖保羅使徒與弟撒羅尼亞輩第二書		

④ 『救世主耶穌新遺詔書』(モリソン改訳 1835-1837 年)。新嘉坡：堅夏書院。

モリソン改訳 (メドハースト主導)			
マタ	馬太傳福音書	I テモ	保羅寄提摩太首書
マコ	馬可傳福音書	II テモ	保羅寄提摩太後書
ルカ	路加傳福音書	テト	保羅達提都之書
ヨハ	約翰傳福音書	ピレ	保羅寄非利門之書
使	聖差言行傳	ヘブ	聖差保羅寄希伯來人之書
ロマ	聖差保羅寄羅馬人書	ヤコ	耶哥伯之書
I コリ	聖差保羅寄哥林多人上書	I ペテ	彼得羅上書
II コリ	聖差保羅寄哥林多人下書	II ペテ	彼得羅下書
ガラ	聖差保羅寄加拉太人書	I ヨハ	約翰三書上
エペ	保羅寄以弗所人書	II ヨハ	約翰三書中
ピリ	保羅達非利比人書	III ヨハ	約翰三書下
コロ	保羅達哥羅西人書	ユダ	猶大士之書
I テサ	保羅達帖撒羅尼迦人之首書	黙	聖人約翰天啓之傳
II テサ	保羅達帖撒羅尼迦人之後書		

- ⑤ 1855. 『旧新全書』（文理代表訳）。香港：英華書院。
 1869. 『新約全書』（文理代表訳）。香港：英華書院。
 1921. 『新約全書 文理』（文理代表訳）。上海：大美国聖經会。
 1930. 『新約全書 文理』（文理代表訳）。上海：聖書公会。

文理代表訳			
マタ	馬太福音傳	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音傳	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音傳	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音傳	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希伯來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エベ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	傳道約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

- ⑥ 1869. 『新約全書』（ブリッジマン、カルバートソン文理訳）。上海：蘇松上海美華書館。
 1884. 『新約全書 文理』（ブリッジマン、カルバートソン文理訳）。上海：大美国聖經会。
 1881. 『新約全書 上海土白』（上海語訳）。上海：大美国聖經会。
 1887. 『新約全書 官話』（1872年委員会北京官話訳神版）。上海：上海美華書館。
 1906. 『新約全書 廣東話』（廣東語訳）：聖書公会。
 1922. 『新約全書 蘇州土白』。上海：大美国聖經会。

ブリッジマン、カルバートソン訳系			
マタ	馬太傳福音書	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可傳福音書	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加傳福音書	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰傳福音書	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希伯來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	保羅達加拉太書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エベ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑦ John Griffith1886. 『新約全書』（グリフィス文理訳）。漢口：英漢書館。

John Griffith1898. 『新約全書』（グリフィス文理訳）。漢口：英漢書館。

John Griffith1892. 『新約全書』（グリフィス南方官話訳）。漢口：英漢書館。

グリフィス訳			
マタ	馬太福音書（馬太福音）	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希伯來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エベ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓力比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑧ 1924. 『新約全書 文理和合訳』（文理和合訳）。上海：大英聖書公会。

文理和合訳			
マタ	馬太福音	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希伯來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エベ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達歌羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰啓示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑨ Burdon & Blodgett 1895. 『新約聖經』（バードン、プロジェクト浅文理訳）：大美国聖經会。

バードン、プロジェクト浅文理訳			
マタ	聖馬太福音	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	聖馬可福音	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	聖路加福音	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	聖約翰福音	ピレ	使徒保羅達腓立門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希伯來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達歌林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達歌林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑩ 施約瑟 1902. 『旧新約聖經』（シェレシェウスキー浅文理訳）。横浜：上海大美国聖經会。

シェレシェウスキー浅文理訳			
マタ	瑪太福音	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	瑪可福音	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希伯來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達歌羅西人書	ユダ	猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼加前書	黙	默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼加後書		

⑪ 1903. 『新約全書 浅文理』（浅文理訳）。広東：粵城美華浸信会書局。

美華浸信会浅文理訳			
マタ	馬太福音	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	使徒保羅寄提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希百來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰得啓示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑫ 1857. 『新約全書』（メドハースト訳南京官話）。上海：墨海書館。

メドハースト訳			
マタ	馬太傳福音書	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可傳福音書	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加傳福音書	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰傳福音書	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希百來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	傳道約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

- ⑬ 1872. 『新約全書 按希利尼原文繙訳官話』（1872年委員会北京官話訳天主版）。北京：京都東交民巷耶穌堂。

天主版北京官話委員会訳			
マタ	馬太福音書	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音書	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音書	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音書	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希百來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達歌林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達歌林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達歌羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

- ⑭ 1872. 『新約全書 官話』（1872年委員会北京官話訳神版）。上海：大美国聖經会。

1872年大美国聖經会北京官話委員会訳			
マタ	馬太傳福音書	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音書	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音書	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音書	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	使徒保羅達希百來人書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	使徒保羅達哥羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰默示錄
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑮ 1903. 『新約全書 官話』（1872年委員会北京官話訳上帝版）。上海：上海大美国聖經会。

1903年上帝版北京官話委員会訳			
マタ	馬太傳福音書	I テモ	保羅達提摩太前書
マコ	馬可傳福音書	II テモ	保羅達提摩太後書
ルカ	路加傳福音書	テト	保羅達提多書
ヨハ	約翰傳福音書	ピレ	保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	保羅達希伯來人書
ロマ	保羅達羅馬人書	ヤコ	使徒雅各書
I コリ	保羅達歌林多人前書	I ペテ	使徒彼得前書
II コリ	保羅達歌林多人後書	II ペテ	使徒彼得後書
ガラ	保羅達加拉太人書	I ヨハ	使徒約翰第一書
エペ	保羅達以弗所人書	II ヨハ	使徒約翰第二書
ピリ	保羅達腓立比人書	III ヨハ	使徒約翰第三書
コロ	保羅達歌羅西人書	ユダ	使徒猶大書
I テサ	保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	使徒約翰默示録
II テサ	保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑯ 『新約全書（官話）』（1907-1918年和合訳と推定）。漢口：蘇格蘭聖經会。

漢口蘇格蘭聖經会官話和合訳			
マタ	馬太福音	I テモ	保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	保羅達提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來書
ロマ	保羅達羅馬人書	ヤコ	雅各書
I コリ	保羅達哥林多人前書	I ペテ	彼得前書
II コリ	保羅達哥林多人後書	II ペテ	彼得後書
ガラ	保羅達加拉太人書	I ヨハ	約翰第一書
エペ	保羅達以弗所人書	II ヨハ	約翰第二書
ピリ	保羅達腓立比人書	III ヨハ	約翰第三書
コロ	保羅達歌羅西人書	ユダ	猶大書
I テサ	保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	啓示録
II テサ	保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑰ 2006. 『聖經一和合本（神版）』（1919年訳）。香港：香港聖經公会。

1939. 『新約全書附詩篇』。中国：聖經公会。

1951. 『新約全書』。中国：中華聖經会。

1992. 『聖經（新標点和合本）』（1988, 1989年）。香港：聯合聖經公会。

1919年官話和合訳			
マタ	馬太福音	I テモ	保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	保羅達提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來書
ロマ	保羅達羅馬人書	ヤコ	雅各書
I コリ	保羅達哥林多人前書	I ベテ	彼得前書
II コリ	保羅達哥林多人後書	II ベテ	彼得後書
ガラ	保羅達加拉太人書	I ヨハ	約翰一書
エベ	保羅達以弗所人書	II ヨハ	約翰二書
ピリ	保羅達腓立比人書	III ヨハ	約翰三書
コロ	保羅達歌羅西人書	ユダ	猶大書
I テサ	保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	啓示録
II テサ	保羅達帖撒羅尼迦人後書		

⑱ 1926. 『新約全書 中西字』（和合訳）。上海：Brithsh & Foreign Bible Society。

1926年中西字版官話和合訳			
マタ	馬太福音	I テモ	提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來書
ロマ	保羅達羅馬人書	ヤコ	雅各書
I コリ	哥林多前書	I ベテ	彼得前書
II コリ	哥林多後書	II ベテ	彼得後書
ガラ	加拉太書	I ヨハ	約翰第一書
エベ	以弗所書	II ヨハ	約翰第二書
ピリ	腓立比書	III ヨハ	約翰第三書
コロ	歌羅西書	ユダ	猶大書
I テサ	帖撒羅尼迦前書	黙	啓示録
II テサ	帖撒羅尼迦後書		

- ①9 1931. 『新約全書 中西字 広東話新訳本 美国新訳英文』（広東話新訳本）。上海：The American Bible Society。

1931年中西字版広東語新訳			
マタ	馬太福音	I テモ	使徒保羅達提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	使徒保羅達提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	使徒保羅達提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	使徒保羅達腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來書
ロマ	使徒保羅達羅馬人書	ヤコ	雅各書
I コリ	使徒保羅達哥林多人前書	I ペテ	彼得前書
II コリ	使徒保羅達哥林多人後書	II ペテ	彼得後書
ガラ	使徒保羅達加拉太人書	I ヨハ	約翰第一書
エペ	使徒保羅達以弗所人書	II ヨハ	約翰第二書
ピリ	使徒保羅達腓立比人書	III ヨハ	約翰第三書
コロ	使徒保羅達歌羅西人書	ユダ	猶大書
I テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人前書	黙	啓示録
II テサ	使徒保羅達帖撒羅尼迦人後書		

- ②0 呂振中 1970. 『聖經』。香港：香港聖經公會。

呂振中訳			
マタ	馬太福音	I テモ	保羅致提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	保羅致提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	保羅致提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	保羅致腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來人書
ロマ	保羅致羅馬人書	ヤコ	雅各書
I コリ	保羅致哥林多人前書	I ペテ	彼得前書
II コリ	保羅致哥林多人後書	II ペテ	彼得後書
ガラ	保羅致加拉太人書	I ヨハ	約翰一書
エペ	保羅致以弗所人書	II ヨハ	約翰二書
ピリ	保羅致腓立比人書	III ヨハ	約翰三書
コロ	保羅致歌羅西人書	ユダ	猶大書
I テサ	保羅致帖撒羅尼迦人前書	黙	啓示録
II テサ	保羅致帖撒羅尼迦人後書		

- ② 1991. 『圣经 现代中文译本』（1975，1979年）。新加坡：新加坡及文莱圣经公会。
1993. 『客語聖經（現代台湾客語訳本）』。台北：中華民國聖經公会。
2006. 『聖經 新広東話』（1997年訳）。香港：香港聖經公会。
2010. 『新訳・和合聖經』（新訳1976年訳）。香港：環球聖經公会有限公司。
2011. 『聖經・新約全書—新漢語訳本（注釈版）』（2010年訳）。香港：漢語聖經協會有限公司。
2011. 『聖經一和合本修訂版（神版）』。香港：香港聖經公会。

現代訳系			
マタ	馬太福音	I テモ	提摩太前書
マコ	馬可福音	II テモ	提摩太後書
ルカ	路加福音	テト	提多書
ヨハ	約翰福音	ピレ	腓利門書
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來書
ロマ	羅馬書	ヤコ	雅各書
I コリ	哥林多前書	I ペテ	彼得前書
II コリ	哥林多後書	II ペテ	彼得後書
ガラ	加拉太書	I ヨハ	約翰一書
エペ	以弗所書	II ヨハ	約翰二書
ピリ	腓立比書	III ヨハ	約翰三書
コロ	歌羅西書	ユダ	猶大書
I テサ	帖撒羅尼迦前書	黙	啓示録
II テサ	帖撒羅尼迦後書		

- ② 1894. 『LÁN Ê KIÙ-TSÚ IÂ-SO KI-TOK Ê SIN IOK. TSOÂN SU』（厦門語訳）：聖經公会。

1894年厦門語聖經			
マタ	馬太福音傳	I テモ	保羅寄互提摩太的批第一書
マコ	馬可福音傳	II テモ	保羅寄互提摩太的批第二書
ルカ	路加福音傳	テト	保羅寄互提多的批
ヨハ	約翰福音傳	ピレ	保羅寄互腓利門的批
使	使徒行傳	ヘブ	保羅寄互希伯來人的批
ロマ	保羅寄互羅馬人的批	ヤコ	雅各的批
I コリ	保羅寄互哥林多人的批書第一書	I ペテ	彼得的批第一書
II コリ	保羅寄互哥林多人的批書第二書	II ペテ	彼得的批第二書
ガラ	保羅寄互加拉太人的批	I ヨハ	約翰的批第一書
エペ	保羅寄互以弗所人的批	II ヨハ	約翰的批第二書
ピリ	保羅寄互腓立比人的批	III ヨハ	約翰的批第三書
コロ	保羅寄互歌羅西人的批	ユダ	猶大的批
I テサ	保羅寄互帖撒羅尼迦人的批第一書	黙	傳道約翰默示録
II テサ	保羅寄互帖撒羅尼迦人的批第二書		

㉓ 1995. 『SIN KŪ IOK Ê SÈNG-KENG CHOÂN SU』(1933年 Thomas Barclay 訳)。台湾：中華民国聖經公会。

1996. 『聖經(台語漢字本)』(1933年 Thomas Barclay 訳修訂本)。台湾：台湾聖經公会。

パークレー訳			
マタ	馬太福音傳	I テモ	保羅寄互提摩太の批前書
マコ	馬可福音傳	II テモ	保羅寄互提摩太の批後書
ルカ	路加福音傳	テト	保羅寄互提多的批
ヨハ	約翰福音傳	ピレ	保羅寄互腓利門的批
使	使徒行傳	ヘブ	希伯來人書
ロマ	羅馬人書	ヤコ	雅各的批
I コリ	哥林多人書前書	I ペテ	彼得の批前書
II コリ	哥林多人書後書	II ペテ	彼得の批後書
ガラ	加拉太人書	I ヨハ	約翰的批第一書
エペ	以弗所人書	II ヨハ	約翰的批第二書
ピリ	腓立比人書	III ヨハ	約翰的批第三書
コロ	歌羅西人書	ユダ	猶大的批
I テサ	帖撒羅尼迦人書前書	黙	啓示録
II テサ	帖撒羅尼迦人書後書		

このように44種の漢訳新約聖書をその文書表題の異なりにもとづいて整理すると、①から㉓の23種類の表題表記を確認することができた。この23種類はほぼ新教系の漢訳新約聖書の文書表題の表記パターンを網羅しているものと思われる。次にこの23種類の表題表記について考察を加えその特徴を明らかにしていきたい。

2. 漢訳新約聖書の文書表題の特徴について

新約聖書にある正典文書は各文書の執筆目的や記者などによって、おおよそ「福音書」、「使徒の働き」、「パウロ書簡」、「その他の書簡」、「黙示録」の5つに分けることができる。本稿ではこの5つの項目ごとに、そこにある文書表題の表記の特徴を考察する。

2.1. 福音書における文書表題の特徴

「福音書」とはイエス・キリストの地上での生涯を具体的かつ歴史的に記述したもので、その生涯の描写をとおして、イエスがイスラエルの民が求め続けてきたキリストつまりメシア(救い主)であることを示すものである。この福音書は「マタイによる福音書」、「マルコによる福音書」、「ルカによる福音書」の共観福音書および「ヨハネによる福音書」を含んでいる。「マタイによる福音書」はイエスの12弟子の1人で取税人であった使徒マタイ(レビ)が記者であるとされ、「マルコによる福音書」は12弟子の1人ではなかったがパウロの第1回伝道旅行に同行したマルコに

よるものとされ、「ルカによる福音書」は医者で異邦人であるルカによるものとされ、「ヨハネによる福音書」は12弟子で「雷の子」と呼ばれた使徒ヨハネによるものとされている。

漢訳聖書の福音書の文書表題を見ると、『四史攷編』では「馬竇」、「馬耳谷」、「路加」、「若望」と福音記者名のみとなっているが、モリソン訳では記者名の前に「聖」が付されていることが分かる。『四史攷編』ではパウロのみに「福」が冠されているが、モリソンは全体の統一性を重んじて福音書記者にも「福」にあたる「聖」を冠したものと考えられる。原文のギリシア語公認本文では「ΕΥΑΓΓΕΛΙΟΝ ΤΟ ΚΑΤΑ ΜΑΤΘΑΙΟΝ」と表記され、人物名には何も冠されていないが、1611年の英語欽定訳では「The Gospel According to S. Matthew」と人物名に「Saint」が冠されていることから英語欽定訳の影響もうかがえる。マーシュマン訳については、マタイに「使徒」が、ルカに「聖」が付されているが、マルコとヨハネには何も冠しておらずばらつきが見られる。なお、この福音書の表題に「聖」や「使徒」を付しているのはモリソン訳およびマーシュマン訳まででその後のものには全く見られない。

また、福音書の文書表題から見た特徴としては、『四史攷編』では福音記者名のみであったのが、モリソン訳とマーシュマン訳になるとそれ以後の雛形となる文書表題に「伝」を用いる形式に変化している。モリソン訳とマーシュマン訳では、「人物名+伝福音書」または「人物名+伝福音之書」という形式が採られ、前者は④、⑥、⑫、⑭、⑮へと継承され、また⑤の文理代表訳へは「馬太福音伝」と「伝」の位置を変えて継承されている。さらに、⑦のグリフィス訳より後に漢訳されたものは「馬太福音」などのように簡素化された文書表題が用いられ現代に至っている。

人物の漢字表記については、ルカのみが『四史攷編』から現代まで「路加」表記で変化がなく、マタイは『四史攷編』からマーシュマン訳、モリソン訳までが「馬竇」表記で、メドハーストが中心として改訳したモリソン改訳以後はシェレシェウスキーの「瑪太」を除いて「馬太」として今日に至っている。マルコについては、『四史攷編』では「馬耳谷」となっているが、モリソン訳とマーシュマン訳では「馬耳可」と1字を異にしているが3字という形式は守られている。しかし、モリソン改訳以後では2字目が削除され「馬可」（シェレシェウスキーは「瑪可」表記）と2音節化したものが現代まで継承されている。ヨハネは『四史攷編』では「若望」と表記され、モリソン訳とマーシュマン訳では「若翰」と1字を違えている。しかし、バセ訳の別の『新約聖書稿本』（ローマ本）ではモリソン訳と同じく「若翰」となっている。「望」と「翰」は当時誰もが容易に関連づけられた近似音の漢字であると考えられそうであるが、モリソン 1815 - 1823 では「望」は「WÁNG」、「翰」は「HAN」とそれぞれ表音されており、内田 2010 が指摘しているように、モリソンがローマ本をどこかの段階で見っていた可能性もあるのではないかと考える。

2.2. 使徒の働きにおける文書表題の特徴

「使徒の働き」とは、ギリシア語公認本文で「ΠΡΑΞΕΙΣ ΤΩΝ ΑΠΟΣΤΟΛΩΝ」（これら使徒たちのふるまい）と記されているように、イエス・キリストの昇天と聖霊が使徒たちに

くんだり、その使徒たちのふるまい、活動を通して福音がエルサレムからローマへと伝播していった様子が記録されている文書である。日本語の新共同訳では「使徒言行録」と表記されている。記者は「ルカの福音書」を記したルカとされている。

漢訳聖書の文書表題における「使徒の働き」の表題表記は、非常に安定していると言える。『四史攷編』では「使徒行」と表記されていたのが、マーシュマンやモリソンによって「使徒行伝」としてプロテスタントの漢訳聖書に受容され、その後モリソン訳の改訳である『救世主耶穌新遺詔書』の「聖差言行伝」以外は現代に至るまで、200年以上も変化をきたしていない。モリソン改訳で「聖差言行伝」とされているのは、「使徒」を「聖差」と訳出したことによるものであるが、このモリソン訳の後継訳である代表訳ではもとの「使徒」に戻されている。

2.3. パウロ書簡における文書表題の特徴

パウロ書簡とは、「ローマ人への手紙」から「ピレモンへの手紙」までの13文書で、手紙の発信者としてパウロの名が記されている手紙である。

このパウロ書簡の漢訳表記の形式において、モリソン訳は忠実、単純に『四史攷編』に倣っている。例えば『四史攷編』の「ローマ人への手紙」は「福保祿宗徒與羅馬輩書」であるが、モリソンはそれを「聖保羅使徒與羅馬輩書」というように「福」、「保祿」、「宗徒」、「羅瑪」の語を「聖」、「保羅」、「使徒」の語に換えただけの表記を行っている。特に、『四史攷編』は「ガラテヤ人への手紙」のみ「福保祿與雅辣達輩書」とパウロの後に「使徒」を付していないが、モリソンもこの文書のみ「聖保羅與厄拉氏亞輩書」と「使徒」を付していない。マーシュマンはパウロの称号を1つのみにして名前の前に「使徒」を置き「使徒保羅」として「ガラテヤ人への手紙」も含めて統一した形式を保っている。文書表題の造語法としてこの早期の形式が定まった表記として固定され、モリソン改訳以後にも継承されている。

人物名を含めた固有名詞については、『四史攷編』からモリソン訳、さらにマーシュマン訳へとという流れが確認でき、この3者の関連性は極めて強いと言える。しかし、モリソン改訳からは大きな変化がもたらされている。それはモリソン訳の称号「聖…使徒」がまとめられて「聖差」という1つの称号となり、モリソン改訳で動詞の「與」が「寄」または「達」に変化していることである²⁾。そして代表訳で「達」に固定され、官話訳や方言訳においてもほぼこの文理訳の「達」が継承されている³⁾。さらに注目すべきは、「コリント人への手紙」と「コロサイ人への手紙」の固有名詞の使用漢字である。モリソンとマーシュマンは両者に「可」を用いているが、モリソン改訳ではそれが「哥」となり、これが代表訳、ブリッジマン・カルバートソン訳をはじめとする19世紀の漢訳聖書で使用されている。しかし、20世紀前後になるとコリントとコロサイの漢字の使い分けが見られる。これは両者の混同を避けるために意識的に使い分けが行われた結果によるものと考えられる。このコリントとコロサイの表記は「哥」「哥」、「歌」「哥」、「哥」「歌」の3種類の組み合わせがあり、漢訳聖書の系譜を考えるうえで大きな手掛かりとなる。なお、和合訳以

後は「哥」「歌」の組み合わせで固定化している。

2.4. その他の書簡における文書表題の特徴

その他の書簡とは、「ヘブル人への手紙」と公同書簡と称される「ヤコブの手紙」から「ユダの手紙」までを合わせた8文書を指し、パウロ以外の人物により記された手紙である。「ヘブル人への手紙」はテモテのことを兄弟として話す人物であるが具体的な記者は不詳である。また、「ヤコブの手紙」はイエスの兄弟でエルサレムの教会の指導者であるヤコブによるもので、「ペテロの手紙第一、第二」の記者は使徒ペテロとされ、「ヨハネの手紙第一、第二、第三」は使徒ヨハネ、「ユダの手紙」は「ヤコブの手紙」を記したイエスの兄弟でエルサレムの教会の指導者であるヤコブの兄弟ユダが記者とされている。

この「その他の書簡」について、モリソン訳の元となる『四史攷編』は「ヘブル人への手紙」までしか所収されていない。つまり、それ以後のヤコブ書から黙示録までの文書表題は、モリソンの全くの独自訳ということになる。「ヘブル人への手紙」を『四史攷編』は「福保祿使徒與赫伯輩書」とし、モリソン訳も「聖保羅與希比留輩書」と形式面においてこれを明らかに踏襲している。また、『四史攷編』にはないヤコブ書からユダ書まででモリソン訳とマーシュマン訳を比較すると、明らかな関連性が見られる。特にヤコブ書はギリシア語公認本文や英語欽定訳の形式とも異なる「者米士或稱牙可百之公書」（モリソン訳）と「者米士即牙可百之公書」（マーシュマン訳）がそれぞれ採用され、「ジェームス」に「ヤコブ」を併記している。これまでのモリソン訳の『四史攷編』との対応性の高さとマーシュマン訳の洗練性を考えると、「『四史攷編』⇒モリソン訳⇒マーシュマン訳」という影響関係の流れを推定できる。また、ヤコブ書のみ動詞を用い、それ以外には動詞を使用しないという形式はおおよそ官話和合訳が出現するまで各訳本に継承されていることも特徴的である。官話和合訳ではパウロ書簡とその他の書簡を区別するためか、表記の形式を異にしている。例えば、パウロ書簡の最後の「ピレモンへの手紙」は「保羅達腓利門書」と動詞句を修飾語として用いているが、すぐ後のその他の書簡の「ヘブル人への手紙」ではそれ以前の表題表記とは異なり「希伯來書」と固有名詞のみを修飾語として用いている。全体的に形式面においては文字数の減少という簡素化の趨勢が確認できる。

固有名詞では、ヘブル書の「ヘブル」が『四史攷編』の2音節語「赫伯」からモリソン、マーシュマンの「希百耳」、「希比留」の3音節へと変化し、モリソン改訳以後は⑪のパプテスト系浅文理訳と⑫のメドハースト官話訳、⑬の天主版委員会北京官話訳、⑭の1872年委員会北京官話訳の4種で「希百來」の表記が使用されている以外は「希伯來」の表記で安定している。また、官話和合訳以降は「希伯來書」と「人」の字を落とした表記となり簡素化がなされている。ヤコブ書でもヘブル書同じように簡素化の傾向が見られる。モリソンとマーシュマンの「者米士」（ジェームス）、「牙可百」（ヤコブ）がモリソン改訳では同じ3音節語の「耶哥伯」となるが、代表訳以後はすべて2音節化された「雅各」が使用されている。ペテロ書についても同様に、モリソン、マー

シュマンの3音節語「彼多羅」がモリソン改訳で「彼得羅」となり、代表訳以後はモリソン改訳の最後の字が落ちた2音節語の「彼得」で定着していることが分かる。さらにヨハネ第一、第二、第三をモリソン、マーシュマンまでは「聖若翰之第一書」や「使徒若翰之第一書」のように構造助詞「之」が付されているが、モリソン改訳以後はこれが消失し、「約翰三書上」のように表記されている。

このように、造語法という形式面と固有名詞という両者において文字数を減少させて簡素化、洗練化がなされていることが確認できるとともに、その境界としてモリソン改訳と代表訳が挙げられる。

2.5. 黙示録における文書表題の特徴

黙示録は使徒ヨハネによるものとされ、このヨハネが神より啓示を受けて見た終末についての幻を黙示文学の形式を用いて記録したものである。

黙示録の漢訳文書表題は、記者を付したものと付さないものが見られるが、記者名を付した表題の特徴としては、記者への称号と黙示録の訳出法の2点にある。まず、黙示録の記者はヨハネであり、表記については福音書のヨハネにおいて既述しているとおりである。記者ヨハネに関する称号は「聖」、「使徒」、「聖人」、「傳道」の4種類が見られ、おおよそ「福音書」、「パウロ書簡」、「その他の書簡」に準じている。『四史攷編』はヤコブへの手紙以降を欠いているが、モリソン訳では「聖若翰」、マーシュマン訳では「使徒若翰」、さらにモリソン改訳では「聖人約翰」と変化している。モリソン改訳以後は代表訳が「傳道約翰」とし、ブリッジマン訳が「使徒約翰」としているが、「傳道約翰」は代表訳と⑫のメドハースト訳と⑳の厦門語訳にしか見られない。ブリッジマン訳の「使徒約翰」は、シェレシェウスキー訳を除くすべて後継訳に継承されている。ただし、官話合和訳になると「啓示録」のみの表記となり、現代でもそれがヨハネの黙示録の文書表題として継承され続けている。

これらの4種類の黙示録の記者ヨハネの称号のうち「聖」、「使徒」、「聖人」は、ギリシア語公認本文の「ΑΠΟΚΑΛΥΨΙΣ ΤΟΥ ΑΓΙΟΥ ΙΩΑΝΝΟΥ ΤΟΥ ΘΕΟΛΟΓΟΥ」や英語欽定訳の「The Revelation of S. Iohn The Diuine」の影響や他の文書表題との整合性を保つためとして説明できるが、「傳道」は特徴的である。伝統的にはヨハネの黙示録はヨハネの福音書、ヨハネの手紙第一、第二、第三を記した使徒ヨハネとされているが、「長老ヨハネ」という見方もある⁴⁾。文理代表訳および⑫の南京官話訳はともにメドハーストが中心となり漢訳されたものであるが、メドハーストは黙示録のヨハネを「長老ヨハネ」と考え、その区別を明確化するために「傳道」の称号を付したのではないと思われる。この称号は前述のとおり、他の訳本に広く影響を与えることはなく、一時的かつ限定的なものとして終わった。

次に「黙示録」の訳出法であるが、モリソン訳、マーシュマン訳の「現示之書」、「顯示之書」からモリソン改訳の「天啓之傳」、さらに代表訳、ブリッジマン訳などの「黙示録」、最後に官話

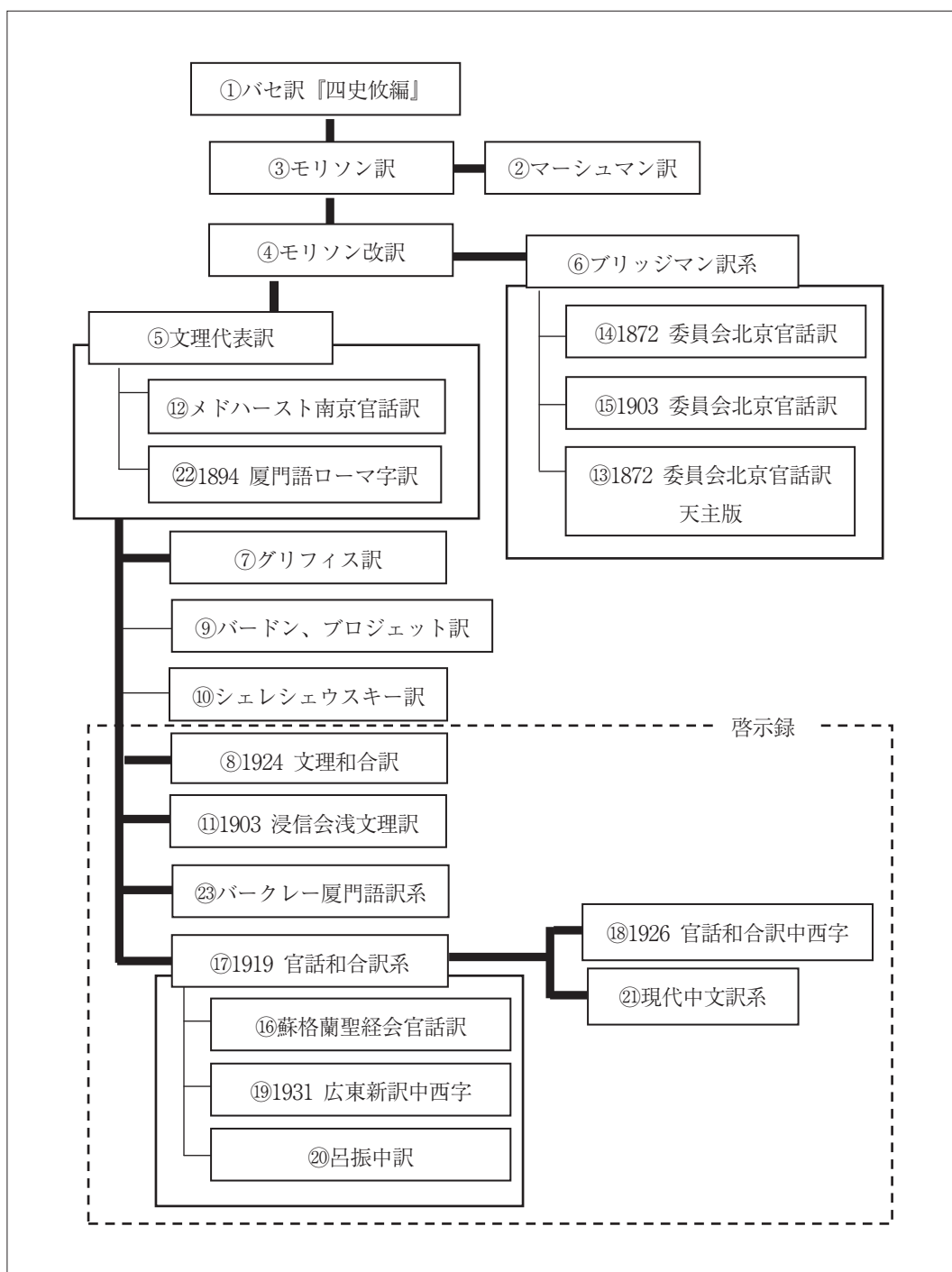
和合訳以後の「啓示録」という変遷をたどっている。つまり、1810年代からモリソン改訳までの1836年、モリソン改訳の1837年から代表訳までの1853年、代表訳漢訳の1854年から官話和合訳までの1918年、1919年の官話和合訳以後の4つに分期することができる。また、音節数からみると代表訳までが4音節で、代表訳以後が3音節と代表訳を境目に表題表記の簡素化が確認できる⁵⁾。

3. 漢訳新約聖書の文書表題の系譜と類型化

これまで漢訳新約聖書を「福音書」、「使徒の働き」、「パウロ書簡」、「その他の書簡」、「黙示録」の5つに分けてそれぞれ考察してきた。ここでは、これらの考察もふまえて漢訳新約聖書の文書表題の表記について、系譜の構築と類型化を試みる。漢訳新約聖書の文書表題の異同は主に福音書の記者名の表記、「傳」の有無とその位置、文字数、パウロ書簡の称号の種類とその位置、動詞の使用とその種類、第一、第二コリントの「哥」、「哥」とコロサイ書の「哥」、「歌」の使用と組合せの状況、ヘブル書と公同書簡の表記の違い、その他書簡の固有名詞と文字数、公同書簡の構造助詞の有無、黙示録の称号と構造助詞を用いた表記、「黙示録」、「啓示録」の表記の別にあると言える。これらの異同点にもとづいて第1章で提示した①から⑳までの漢訳新約聖書を系譜化すると図1のようになる。

この図1において、プロテスタント聖書の文書表題の原型としての①の『四史攷編』は②のモリソン訳に影響を与えている。この原型に比較的忠実なモリソン訳は、マーシュマンによって簡素化、洗練化され②のマーシュマン訳の表題が成立したと思われる。また、このモリソン訳は過渡期の④のモリソン改訳を経て、⑤の文理代表訳と⑥ブリッジマン、カルバートソン訳系に分岐する。分岐の基準としては、福音書の「傳」の位置と第一、第二コリントとコロサイ書の「哥」、黙示録のヨハネの称号である「傳道」と「使徒」の使い分けがあげられる。この代表訳の亜種として、⑫のメドハースト南京官話訳と⑳の厦門語ローマ字訳を置いた。⑫のメドハースト訳は福音書の「傳」の位置がブリッジマン訳と同じであるが、メドハースト訳は1857年の出版で、ブリッジマン訳より早いため考慮に入れず、かなり特殊な黙示録のヨハネの称号である「傳道」によって代表訳の亜種と判断した。一方、ブリッジマン訳系の亜種としては、⑬の1872委員会北京官話訳天主版と⑭の1872委員会北京官話訳、⑮の1903委員会北京官話訳を置いている。⑭の1872委員会北京官話訳はマタイのみにある「傳」の位置と第一、第二コリントとコロサイ書の「哥」、そして黙示録の称号を基準に判断した。また、⑮の1903委員会北京官話訳も「傳」の位置と第一、第二コリントとコロサイ書の「歌」の共通使用、そして黙示録のヨハネの称号「使徒」を基準とした。さらに、⑬の1872委員会北京官話訳天主版は判断が難しいところであるが、第一、第二コリントとコロサイ書の「歌」の共通使用と黙示録のヨハネの称号「使徒」により、ブリッジマン訳系とした。

文理代表訳はさらにその系統として⑦のグリフィス訳、⑧の1924文理和合訳、⑨のバードン、プロジェクト訳、⑩のシェレシェウスキー訳、⑪の1903浸信会浅文理訳、㉓のバークレー厦門語



漢訳新約聖書の文書表題の系譜（図1）

訳系、⑬の1919官話和合訳系へと継承されたと判断した。文書表題でこれらの系譜を定めることは非常に困難であるが、ここでは福音書の表題を次のように理解し、それにもとづいてこれらを文理代表訳の系統とした。文理代表訳の福音書は「馬太福音傳」であり、ブリッジマン訳は「馬太傳福音書」となっている。例えばグリフィスでは「馬太福音」とあるが、これを単純に文理代表訳の「馬太福音傳」を簡略化させた結果「傳」が欠落して「馬太福音」の表記が成立したものと考えた。ブリッジマン訳を簡素化させた場合、「馬太傳」や「馬太福音書」となると考えられ、「馬太福音」となるのは不自然である。⑭の1872委員会北京官話訳ではマタイのみが「馬太傳福音書」と「傳」が付され、その他の3つの福音書には付されていない。その3つの表題表記は「馬可福音書」などであり、「馬可福音」などとはされていないのである。これにより、⑦のグリフィス訳、⑧の1924文理和合訳、⑨のバードン、プロジェクト訳、⑩のシェレシェウスキー訳、⑪の1903浸信会浅文理訳、⑬のバークレー厦門語訳系、⑬の1919官話和合訳系を文理代表訳の系統と判断した。さらに注目すべきは、図1の破線で囲われた部分で、これらはヨハネの黙示録に従来の「黙示録」ではなく、「啓示録」という新しい表記が用いられている。

これまでの考察をふまえ、さらに漢訳新約聖書の文書表題を整理すると、おおよそ次の5つに類型化できる。中段は区分のポイントを示し、下段は各類型を代表する訳本を示す。

早期バセ系 1700年代－1836	過渡期系 1837－1853	発展期系 1854－1918	成熟期系 1919－1975	現代期系 1976－2014
動詞「興」 造語法、文字数	動詞「達」、「寄」	黙：「黙示録」 称号：「使徒」、「傳道」	黙：「啓示録」 パウロ書簡と他書簡の区別	動詞なし
①バセ訳 ③モリソン訳 ②マーシュマン訳	④モリソン改訳	⑤文理代表訳 ⑥ブリッジマン訳	⑬官話和合訳	⑭現代中文訳

ここで、過渡期系の1837年はモリソン改訳の完成年であり、発展期系の1854年は代表訳の旧新約完成年である。⑪の1903浸信会浅文理訳はその文体から和合訳の亜種と考えられるため、成熟期を旧新約官話和合訳が出版された1919年としている。さらに現代期の1976年は現代中文訳が成立した年を示している。

おわりに

これまで漢訳新約聖書の文書表題の考察を文書の性質、系譜化、類型化によって考察を行ってきた。これらの考察から、まず文書表題は基本的に文理が準用されていることが明らかとなった。また、文書表題の表記は時代が下るにしたがって簡素化による洗練化が行われていた。これは聖書本文の漢訳過程にも見られる現象である。つまり、最初はオーバースペックとも言える過剰な翻訳が行われ、その後は簡略化を進め洗練化されて定着していくというものである。漢訳新約聖

書の文書表題の表記では、最初の洗練化がモリソン改訳で見られ、このモリソン改訳が橋渡し、あるいは露払いとなり、漢訳聖書の大きな転機となる代表訳の出現につながっている。このモリソン改訳と代表訳に共通して中心的役割を担っていたのが、メドハーストである。本稿によりメドハーストが関わった漢訳聖書の重要性が明らかになったと同時に、メドハーストの漢訳聖書の研究において彼の神学観を解明する必要性も示されたと考える。これについては今後の課題としたい。さらに本稿により、近代における官話和合訳の成立も現在の漢訳聖書の文書表題に大きな影響を与えていることも確認できた。メドハーストの聖書とともに官話和合訳の研究も漢訳聖書研究の柱として据える必要があることが明らかになった。

注

- 1) メツガー 1999 の 209 頁を参照。
- 2) 「寄」と「達」の混在は漢訳の分担、つまり漢訳者の違いにより生じた可能性が考えられる。
- 3) ㉔の呂振中の個人訳では「致」、㉔のローマ字版厦門語訳と㉔のローマ字版およびそれを底本にした漢字版では「寄」がそれぞれ使用され、「達」を継承していない。「致」は現代中国語の表現に合わせたもので、「寄」は表音文字のローマ字で漢訳されたために表題にも方言音が強く反映されたことによるものと考えられる。
- 4) 旧約新約聖書大事典編集委員会 1989 の 1255 頁を参照。
- 5) ㉔の美華浸信会『新約全書 浅文理』では「得啓示録」となっているが、このバプテスト系の表記は例外的なものと思われる。

参考文献

- Jean Basset. 『新約聖書稿本』(ローマ本)。
 旧約新約聖書大事典編集委員会 1989. 『旧約新約聖書大事典』。東京：教文館。
 1995. 『聖書新共同訳』。東京：日本聖書協会。
 B.M. メツガー 1999. 『新約聖書の本文研究』。東京：日本基督教教団出版社。
 内田慶市 2010. 「モリソンが元にした漢訳聖書－新しく発見されたジャン・バセ訳新約聖書稿本－」、『アジア文化交流研究』5：219-230 頁。大阪：関西大学アジア文化交流研究センター。
 塩山正純 2013. 『初期中国語訳聖書の系譜に関する研究』。東京：白帝社。
 Morrison, Robert, 1815-1823. *A Dictionary of the Chinese language, in three parts*, The Honorable East India Company's Press, Macao
 American Committee of Revision, 1881, *The New Testament of Our Lord and Saviour Jesus Christ*, The University Press, Cambridge (英語修訂訳)
 Brooke Foss Westcott & Fenton John Anthony Hort, 1901. *The New Testament in The Original Greek*, Macmillan and co., Limited, London
 Spillett, Hubert. W. , 1975, *A Catalogue of Scriptures in the language of China and Republic of China*, Brithsh and Foreign Bible Society, London
 1994. *BIBLIA SACRA IUXTA VULGATAM VERSIONEM*, Deutsche Bibelgesellschaft, Stuttgart (ラテン語ウルガタ訳)
 2011. *Holy Bible 1611 King James Version: 400th Anniversary Edition*, Zondervan, Michigan (英語欽定訳)

H KAINÉ ΔΙΑΘΗΚΗ (The New Testament The Greek Text Underlying The English Authorised Version of 1611).

The Trinitarian Bible Society（ギリシア語公認本文）